

## Ⅱ．2020（令和2）年度相談員別の年間活動報告

岩 井 浩 英

令和2年度の活動も、引き続き、1）県内の学校ソーシャルワーク推進に関する活動、2）本学学生からの学生生活等に関する相談対応、3）その他の相談活動を行った。

1）については、例年の通り、県教育委員会主催の連絡協議会・研修会に連絡協議会委員として参加した。また、任意団体「かごしま学校ソーシャルワークを進める会」（以下、「進める会」という）については、今回、規約改正も含めて見直しを図ったうえで、事例研究を含む企画を計3回実施した。さらに、進める会代表として、県教委主催の「いじめ問題対策連絡協議会」および「鹿児島県教育機会の確保に関する意見交換会」（令和2年度からの新規事業）への出席要請を受けた（それらの一部は、筆者の代理として進める会事務局員が出席）。

2）について、令和2年度は、新型コロナウイルス感染事態の影響もあって、学生相談等の実績は少数にとどまったが、年度末に卒業生からの相談が数件続けて入った。

3）その他の活動としては、いくつかの関連する自治体設置委員会の委員長（会長）や委員を2019年度も継続して引き受けた。

古 賀 政 文

本年度は、1）特別支援学校等の児童生徒及び保護者、教師等の相談等への対応、2）障害のある子どもの保育所・幼稚園等での指導・支援の推進、3）地域との連携を通じた、地域福祉事業の取組を中心に行った。

1）については、特別支援学校に在籍する児童生徒及びその保護者、教師への相談として、児童生徒の実態把握や状態等に応じた指導についての相談に対応した。新型コロナウイルス感染予防対策で電話やメールでの対応が多くを占めた。新型コロナウイルスで活動場所が限られ、家庭等での活動内容についての相談があった。

2）については、実際の保育所等を訪問し、障害のある子どもの状態等を参観し、具体的な環境整備や支援方法について、担任等と協議したり、保護者との相談活動を行ったりした。保護者からは睡眠リズムやコミュニケーション・言葉、情緒面の課題等の相談があり、対応した。

3）については、錦江台まちづくり協議会社会福祉部会の委員の委嘱を受け、在宅独居高齢者、認知症高齢者等の見守り活動等の企画・実施に協力した。

## 中 村 ますみ

本年度の計画に基づいて、以下の活動を行った。

- 1) 発達支援事業所において音楽療法を行い、共にセッションを行う音楽療法士には、毎回、セッション前のプログラム作成段階から打ち合わせを行った。ねらいに応じた音楽活動を考え、新しい教材の開発などについても共同研究できた。また、事後の振り返りも事業所スタッフの全員で行う機会が定着してきた。
- 2) 学内において「親子ふれあい音楽あそび」を開催した。感染症対策を十分に行い、プログラムもそれに応じたものを検討した。定例の事業として定着し、第4回目となったが、より充実した事業開催を目指して次年度の開催時期について検討を行った。
- 3) 主宰する音楽療法研究会においては、日本音楽療法学会認定の研修会として講演（テーマ：「音楽療法における活動の質を考える」）を行った。
- 4) 障害のある青年に対するピアノレッスンを継続しているが、ともに演奏を行うほか、コロナ禍における演奏活動について、母親との情報共有を積極的に図った。
- 5) 施設における活動展開等についての相談に応じ、助言を行った。
- 6) 本学科の学生・保護者、卒業生の相談に応じた。

## 松 元 泰 英

本年度の活動は、コロナ禍のため、当初予定していた活動内容を変更せざるを得なかった。結果的には以下の内容を実施している。

- 1) 肢体不自由特別支援学校を中心とした講演
  - ・ 特別支援学校で重度重複障害児への指導の在り方について講演を行った。
- 2) 特別支援学校における肢体不自由児を中心とした支援の在り方についての指導・助言
  - ・ 県内の数校の養護学校へ出向き、重度重複児の実態把握と指導の在り方について、指導・助言を行った。
- 3) 療育施設での言葉の指導
  - ・ 療育施設に在籍する未就学児に言葉の指導を行った。
- 4) 本学学生の学生生活等に対する相談
  - ・ 本学の担当クラスやゼミ生を中心に、学習や生活面を中心とした相談に応じた。

### Ⅲ．2020（令和2）年度業務報告（相談件数）

#### 1 相談内容

育児、家族関係、家庭教育などに関する相談	16
生活指導、学業不振、不登校、校内暴力などに関する相談	4
就学、就労などに関する相談	14
余暇（自由時間）活動に関する相談	24
公的制度の利用に関する相談	0
専門職活動に関する相談	78
障害（※）に関する相談	20
その他	3
合計	159

（※）視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病虚弱、言語障害、自閉症スペクトラム障害、情緒障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、重複障害、精神障害など

#### 2 年齢別

0歳以上 6歳未満	43
6歳以上12歳未満	19
12歳以上15歳未満	14
15歳以上18歳未満	4
18歳以上	79
合 計	159

#### 3 相談の方法

電話	メール・文書	学内面接	学外活動	その他	合計（内 継続（※））
11	20	26	95	7	159（58）

（※）継続相談契約に基づく定期的な相談

## IV. 2021（令和3）年度各相談員の事業計画

岩 井 浩 英

令和3年度も、主要な活動として、以下の項目を予定している。

- 1) 県内の学校ソーシャルワーク推進に関する活動（県事業連絡協議会委員としての事業支援（スーパービジョンを含む）、任意団体「かごしま学校ソーシャルワークを進める会」を通じた研修活動等）
- 2) 本学学生からの学生生活等に関する相談対応
- 3) その他の相談活動（自治体設置委員会の委員等就任も含む）  
※これまでの主要な活動を継続しつつも、新たな相談要請等に対し可能な範囲で応じたい。

古 賀 政 文

今年度、以下の活動内容を計画している。

- 1) 特別支援学校等の児童生徒及び保護者、教師等の相談等への対応
- 2) 障害のある子どもの具体的な指導・支援の推進
- 3) 地域との連携を通じた地域福祉事業の取組

中 村 ますみ

継続している音楽療法臨床を中心に、以下の活動を計画している。

- 1) 発達支援事業所における音楽療法、また事業所スタッフの「音楽を活用した療育」についてのスキルアップ支援
- 2) 第5回親子ふれあい音楽あそびの開催
- 3) 県内音楽療法士へのスーパービジョンと研究会（研修会）の開催
- 4) 障害のある青年たちへの余暇支援
- 5) 特別な支援を要する幼児に対する、附属幼稚園と連携した研究
- 6) 子育て支援、特別支援教育、障害者施設、高齢者施設等における音楽の活用についての講演
- 7) その他 本学・本学科における学生、卒業生に対する相談対応

松 元 泰 英

今年度の活動計画として下記の内容を予定している。

- 1) 肢体不自由特別支援学校や各研究会での講演
- 2) 特別支援学校における肢体不自由児を中心とした支援の在り方についての指導・助言
- 3) 特別支援学校の児童生徒の支援についての相談対応
- 4) 療育施設での言葉の指導
- 5) 本学学生の学生生活等に対する相談対応